

学保連ニュースNo. 2

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園 2 丁目 4-22 TEL 093-662-6000 ・ FAX 093-662-6006

2018 年 12 月 25 日発行

E-mail gakuhoren6000@axel.ocn.ne.jp

12 月は冬とは思えない暖かい日が続くなあ！と思っていましたが、急に寒くなったり、温度変化に戸惑う日々です。みなさん体調を崩してはいませんか？

来年は 2 月に宗像で福岡県学童保育研究集会、10 月に京都で全国学童保育研究集会が開催されます。いずれも近場での開催ですので、多くの保護者、支援員、運営委員で参加しましょう。

第 53 回 全国学童保育研究集会 in 神奈川！

○2018 年 10 月 20 日（土）～21 日（日）

○神奈川県横浜市

○記念講演：『子ども時代は二度と来ない「子供」が「こども」でいられるための 5 つの権利』

早稲田大学名誉教授 増山 均氏

全国研に参加して

今回が初めての参加でした。まず、圧倒的な人の波、動員数に驚きました。全国で学童保育の問題に関して、こんなに真剣に考えている人が沢山いるんだと、保護者として身が引き締まる思いでした。

初日の講演では、今日、子どもが抱く課題を学童で果たせる可能性があるというお話でした。やはり、留守番よりは学童に行っていて良かったと改めて思いました。

2 日目の分科会では、興味があるテーマに分かれて参加することができました。普段気になっている悩みや疑問が解決できて、大変勉強になりました。保護者として、指導員の先生方と話し、さらに学童について理解が深まりましたし、もっとよくなるようにお手伝いしたいなと思った 2 日間でした。（S 保護者）

参加人数 4588 名
北九州から 18 名
が参加しました



増山先生の講演の中で、生涯で 0～20 歳の子ども時代が大切な時期で、子どもの権利条約の事を詳しく話されました。学童保育に通っている子どもの中には「無罪刑務所」と思っている子どももいると話され、明日も行きたいと思えるような学童保育にすることが大切と実感しました。（T 事務局）

全国の先生方と子どものことについて真剣に悩み考える時間は、支援員さん達の温かさで、「どんな子も絶対に見捨てない、諦めない」という覚悟に満ちていました。翌日子どもと会うのが楽しみに、会場を後にしました。（m 支援員）

けん玉ダンスでお出迎え



来年は 10月19~20日

京都です！

皆さんぜひ参加しましょう



第38回 北九州市学童保育クラブまつりを開催しました！

○2018年11月3日（土：祝）

○響灘緑地グリーンパーク

今年は初めての場所での開催で、駐車場、入園方法、広いスペースでの配置、まつりの内容など、課題がいっぱいで、下見と現地の方との打ち合わせを重ねながら準備をしました。

○当日の様子

お天気に恵まればかぼか陽気の中、子どもたちは、広～いグリーンパークの芝生で元気にゲームやクイズ、お買い物や販売…楽しかった！！とたくさんの笑顔が見られた一日でした。

若松の学童では、「近くて参加の声掛けがしやすかった。」他の地域の学童では「7:00前に家を出た。去年は山田緑地で、若松の方はこんなに早く出て来られていたのですね！」来年の場所はまだ未定ですがどこになっても悩ましいですね。

大きな事故もなく無事に終わることが出来ましたが、安全対策、実行委員会の中身等課題もみえていますので、しっかりと振り返り、来年に活かしたいと思います。実行委員長をはじめ実行委員の皆さま、保護者の皆さま、指導員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

<実行委員長より>

新天地で、天候にも恵まれ、楽しい1日をすごささせていただき、実行委員をはじめ、各クラブの指導員、保護者の皆様のご協力に支えられ、子ども達の笑顔や各クラブの交流でマナーの良さに感謝し、今後の学童まつりに教えられることが沢山あったように思います。本当にありがとうございました。学童まつりは大成功したんだなあと心から思いました。感謝します。

（藤ノ木学童 花田）



開会式



箱運びリレー



フラフーフ



しゃぼん玉



ど根性カエル



ダンボールキャタピラ

新人基礎研修（福岡県学童保育連絡協議会主催）

○2018年11月25（日）

○春日クローバープラザ

放課後児童支援員認定資格研修が開始されて今年で4年目となり、多くの指導員が資格を取得し、放課後児童支援員として、学童保育で活躍しています。

2012年から始まった新人指導員を対象とした基礎研修が今年も行われました。

選択講座「学童保育の暮らしとは?」「学童保育のあそび/遊びとは?」「学童保育の子どもの育ちとは?」と必須講座「保育を“もっと”楽しもう!」について学びました。

参加者の声

「学童保育のあそび/遊びとは?」に出席させていただきました。

カフェ形式というのがとても良く、他の支援員とフランクに話す機会となりました。また、より多くの意見も聞くことが出来ました。自分の子ども時代の「あそび」を思い出し、人間同士の信頼は、「共感する」ことが大切で、それを「あそび」で育てていったのだなと確認できた研修となりました。

これからの活動計画

○第 37 回福岡県学童保育研究集会
2019 年 2 月 24 日（日）
宗像ユリックス・メイト
メインテ～マ



今年は宗像です！近いです！
メディア、保護者会などいろいろな分科
会があります。当日は子どもを預けると
ころもありますよ(^_^)

「ただいま～」 「またあした！」 みんなで楽しむ学童保育

～保護者・支援員・地域で子どもの権利を考えよう！～

記念講演

講師：石原 剛志氏（静岡大学教授 教育学部一発達教育専攻）

学童保育の「従うべき基準を堅持する」とりくみ

私たちの長年の運動の結果「原則 40 人に対して 2 人の放課後児童支援員を配置する」という厚労省令の運営基準が出来ました。

しかし、4 年もたたないうちに、国は人手不足などを理由に、市町村の判断にゆだねられるようにしていこうとしています。今年の春、緊急に「従うべき基準の堅持を求める請願署名」を全国で約 20 万筆（北九州は 1,437 筆）集め国会に提出しましたが請願署名は【審議未了】となってしまいました。

地方議会から「従うべき基準を守るための意見書」を提出してもらうための取り組みを進め、埼玉県議会、福岡県議会、岩手県議会、埼玉県松山市市議会で意見書提出が採択されました。

市連協も、北九州市議会議長あてに意見書提出のお願いに行きました。その結果、北九州市議会でも 12 月 12 日に意見書が採択されました。これからも基準が守られるように様々な運動を進めていきます。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に・・・

12 月に若松の松尾商店さんの取り扱いでみかんの販売をしました。
予想以上に沢山の注文がありました。みなさまご協力ありがとうございました。

今年も至らぬ点多々あり、皆様には大変ご心配ご迷惑をおかけしました。

これからも放課後の子ども達のためにより良い活動が作り出せるようにご意見、ご協力をお願いいたします。

皆様にとって来年もよりよき一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。